





河卷名こひろくはれちと五ろいふろとろふふぬん

○花 此卷ハし女卷ニ次オをてハ六条院成五歳の三月より十二月までけるといふ也
 允タ良上ハ五条よりて源氏君ハわひろめてあるの院までおほきとてわいてひる
 将といひ一時ハわひろて玉の君とハまうきけり此姫君ハ四の年西の京ハやと
 侍り乳母のむこ太宰の女貳は成てよりしは具せられて肥前の國までせとせ斗
 るにけり肥後國ハ大まの監といつともわりのけり此女君を思ひてのうきや
 となるけりハ俄ハ乳母子をとりて京のわりの時初瀬まで右近よりあひ
 てうれたりして六条院ハひろきけり今年玉の君ハ廿二の年ハわろて夕良上
 ませせはけりハ三十七の年よりけり紫上ハ廿七八ハ此卷ハ及てこれとまてハ廿八の年
 玉の君ハ哥の詞をとりて卷の名とけり

玉うゝハ哥の詞をとめて卷の名と作り

○年月へててみゆと河峯巻乃始未摘花巻と同様也何も其詮わつて未摘花巻は着際
の次それとも横の並ちうり故は夕貞巻よつてもへりより此巻又五つは君のうみ来へ
うめはまつ夕貞上はみと出でてりきり興以有幽致矣又落とまねすは夕貞巻は夕露はひそ
くと花は或はひよりありとあり夕貞乃うと落とまねし心え

花玉の君乃三歳の時夕良上りてりぬりてれり今年まで廿年なりを送
りてとほ氏君の心はいさうこととせぬぬををり

細此卷ハ悉皆玉ろく此傳よりきうされば玉ろくこの久しききうもあつ也この叢端未摘
卷ハ似たりたるきくと各別しる也まづ未つひ乃卷の心ハ常陸宮のきうとくきうてり
夕良上ハ似たりひしる人となりしとあひひてしるよりしる心あり此卷の心ハ今六条院と
造畢ありてそと此院内ハ夕良上在せりハとゆふとゆひ出し給也ゆふよりゆふハ
叢端いさうつさるさやうあり又重語のやうなり此事諸拙不及淋汰を

う月一とぬとある

一、ふくむべきもの

うらぐらぐらのわうふゆめ

と見ゆひくあふははて

わうまうぐとあまふれよほおー

くのおがしづなをいふ乃

[illegible]

Handwritten signature or name.

[illegible]

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

又云

日知錄卷之六

心くろく人の 万水 今六条院に住ぬゆゑ
又ハ其外の人を乃々ゆゑつきても夕貝のおし
まゐさハと馬出ぬと也

まきハと馬金源也

○わきまうハト河拾遺爲頼世中ハわきまう
ハト思入るさうわきまハなるうよきうが

此哥爲賴紫式部大略同時之人也ト云就て
河海委論セリ

○右近ハ 細
夕貞上の後び久とう也

○古人の或は久く又まづや人の内と也

○もふれゆらうひの細世間ハ紫上のくく渡
流也

よんまんぐさくしん

○ういひる河潜也其のやうな鮓也龍乃
いふこ出さうと潜龍と云うと易潜龍勿用
註龍德而隱といふ已前卷この嘯の心
あつた也 或抄 未摘卷も此詞あり
○こ君との 万水夕良上世よりまゐるの
右近う心也

○さうもゆさう孟母氏のお心と右近う也
○おとあつた河孝経云満而不溢
あつたもはつたよきさう也常陸宮姫君を
の事といふ

○此中ものう花し女巻の終りあつた也

○あつた京は花是よりハ玉の君の四の
年つてへうはつて甘きやうな郷へ
のあつたを長くともさういふ也

○我名もつた河太夫人の山あつた
川いふとこ入て我名もつた
細々良上ハいふてむさう成る人
（さうは）はつて右近と外はつた
てもさう也さう右近ハ西京ハ古里ハ音
つてもさうてあつた人ハ玉の行も不
○その中乳母 細々良上の乳母也
○必きさうて河 織負令曰太宰府也

ういひる河潜也其のやうな鮓也龍乃
いふこ出さうと潜龍と云うと易潜龍勿用
註龍德而隱といふ已前卷この嘯の心
あつた也 或抄 未摘卷も此詞あり
○こ君との 万水夕良上世よりまゐるの
右近う心也

ういひる河潜也其のやうな鮓也龍乃
いふこ出さうと潜龍と云うと易潜龍勿用
註龍德而隱といふ已前卷この嘯の心
あつた也 或抄 未摘卷も此詞あり
○こ君との 万水夕良上世よりまゐるの
右近う心也

○まゝいゝハ 万水 夕良の乳母うかゝといふ
これとてえうねかきでさういふ人よとて
玉うつとつぎてうといふ也

○父君は 細致仕大臣中將の時也
孟頭中將は玉うつ人といふとて女家也
○うへは使 孟頭中將はうへをいふも母は
といふは母といふ也

○まゝいゝも 細父君もいふはまゝいゝといふ
巴抄二二歳の時父君はあひいふといふ也

○あゝいゝといふを 或抄父君あゝいゝといふ京は留
はしといふ也

○あゝいゝ 万水 万中將トては我西よと
知なりといふまてつとていふといふ
はまゝいゝといふ也

○まゝいゝ 或抄我ゝゝ志のまゝいゝ也

○まゝいゝといふを 也抄まゝいゝといふも母也

まゝいゝといふは 万水 夕良の乳母うかゝといふ
これとてえうねかきでさういふ人よとて
玉うつとつぎてうといふ也

まゝいゝといふは 万水 万中將トては我西よと
知なりといふまてつとていふといふ
はまゝいゝといふ也

おひきとてすえくわうしあひ
るびくやじうさやふやうんを
とてんわんぐもろくじとあせ
もよのこももろくろよつと
ろくろすくもろくろそては付
まろくろくろのろくろよとてうろく
なりとてあひのろくろやとてさろ
やうとてろくろのろくろあひと
まろくろとてろくろのろくろあひ
ねろくろとてろくろのろくろあひ
ろくろとてろくろのろくろあひ
ろくろとてろくろのろくろあひ

王景文

今
日

This image shows a blank, aged, cream-colored page, likely an endpaper or flyleaf of a book. The paper has a slightly textured appearance with some minor creases and discoloration, characteristic of old paper. There is no text or other markings on the page.

〇もくろふ 万永 監とふひてふもくろふ
 とと別入可然るもあつてとと也

[illegible][illegible]

母君乃 万水 夕良のふとさう

さうの中は或按わ中人の中よりある
人々をさうとせしむ也

くうとて佛神といふてゐるやうな
の佛神ハ皆我まうとて
その目ハく 或抄 くや目限とていふる也

。此月ハきのくも河 三月春の季ハ終也四季
終世俗説悼之云 細本説るゝとて
當座といひのうけり也

。ありていゝ細 大丈監也
或抄 座と下て写あり也
やぐろ 或抄 哥と案とる也

。君より一考 大丈監也 花 肥前国松浦郡
鏡明神ハ太宰少貳藤原廣繼の靈也又鏡の
山ハ神功皇后の鏡化して石とるなりと鏡山
といふ是と鏡の神と可云る下の初は松浦
箱崎同社也といふはつとて石清水八幡と同
体のりなりはりちりハ鏡の神ハ二儀
ありと云ふ也 細 鏡の明神西義あり
按はるゝ廣繼ハ元八取の二所也あり
ありハ神功皇后也
。け和哥ハ細 監う随分と自稱ある也

。うへとて万水 尼君といふとて我
うとて万水 尼君といふとて我
うとて万水 尼君といふとて我
うとて万水 尼君といふとて我

。うとて万水 尼君といふとて我

。年とて万水 尼君といふとて我
の君とて万水 尼君といふとて我
彼監とて万水 尼君といふとて我
監うとて万水 尼君といふとて我
。またやとて万水 尼君といふとて我
。またやとて万水 尼君といふとて我
。またやとて万水 尼君といふとて我
。またやとて万水 尼君といふとて我

。またやとて万水 尼君といふとて我
。またやとて万水 尼君といふとて我
。またやとて万水 尼君といふとて我
。またやとて万水 尼君といふとて我

のうのに神ハきのくも河 三月春の季ハ終也四季
終世俗説悼之云 細本説るゝとて
當座といひのうけり也

。君より一考 大丈監也 花 肥前国松浦郡
鏡明神ハ太宰少貳藤原廣繼の靈也又鏡の
山ハ神功皇后の鏡化して石とるなりと鏡山
といふ是と鏡の神と可云る下の初は松浦
箱崎同社也といふはつとて石清水八幡と同
体のりなりはりちりハ鏡の神ハ二儀
ありと云ふ也 細 鏡の明神西義あり
按はるゝ廣繼ハ元八取の二所也あり
ありハ神功皇后也
。け和哥ハ細 監う随分と自稱ある也

。うへとて万水 尼君といふとて我
うとて万水 尼君といふとて我
うとて万水 尼君といふとて我
うとて万水 尼君といふとて我

。またやとて万水 尼君といふとて我
。またやとて万水 尼君といふとて我
。またやとて万水 尼君といふとて我
。またやとて万水 尼君といふとて我

ひきこのなるに河万七きのふを舟出ハせり
伊佐良とくは治奇のることきふりつうか
忠見集年とてひきされうこはあつひ舟のほ
のうとくと待るそ有きう此まれりハく
振津国よこつひきうとく云り然者當国最
え袖中披露昭云ひらさのるこハ幡摩有
俗説云ひここのること云う本部王記云天
徳四年六月十一日は日脩前脩中後路等
驛至脩前舎使申云賊二艘糸友桑也從響齊奈
多捨舟脱道疑入京えう花ひきさのる
海賊舟ハ本部王記のありきとあり
いりうのひきう花一而とく海賊の舟
一而のり也さうて大丈監うないさうい
せんも也河内本おうとくとあり

細 玉くろの方也又從兵部君
 兩說共用之一万水我之さむねのひささく
 是ハそのさむねひさおおもとめと之落着
 くるき心也

川と花 河鹿在揚津岡

〇〇〇〇〇〇〇〇 花 清行く意見よのせし
 上々々々八唐泊より河鹿へハ三日より道遠
 故ハ川鹿と云ふ近付て舟子ハ唐泊よりをも
 かととととととと也唐泊は備前国よあつ棲衣
 糸又より糸より糸とととととととととと
 別一人のゆゑハ

鳥辺ねとて 万水 日よれねといひてさてお
とへはとてふし
おへはぢふそ 万水 前の初まはうひる。
さひて妻ふはるも日よるやうなれと能く
思案とれたさても妻子とてつづみよと

ちのほろいひりてく人しきまじ
 ぐ海あまてきひきるんとおひ
 ようらめもまじひて又おとひ
 てく海いもるんく海くろくた
 おひこのせきくもておひ
 うさまじくもくわくわくひひ
 くらくもくもくくすく海賊
 乃ちあわんちんいみおはぶ
 やうてくもくくあまて
 ぐのひくもくもくわくわく
 おくくく人のおひくもくわく
 せんく

[illegible]

河松浦官風土記ニ神功皇后以鏡石ト成て鏡

山よまゝもて尽さう

或按弘備鏡山明神ハ神功皇后也宮崎ハ八幡
それハ同躰といフ

○の國をとりて 万水 在國の時時もまづ流ひて
上洛の刻之多敷くて流と也

○うゑんちうと或按ふかき都よのあり
 ぬハ八幡の利生也とやうなりとある下と

○又河八幡宮五師 貞觀八年別當
安宗之時以運如法師始補五師 安和二年別當
貞芳之時以五師貞善法師始補大五師
花村上御記云 康保二年八月廿八日藥師寺三經

五原等相卒各陣外ニ弄八幡宮五原五人

八幡より諸寺より五所八有也

さうしてハ 細 くれよつてハ也

佛の中よハ花　長谷寺ハ觀音也佛ト云ハ神
神ト佛神といひるなり、れハまじハ菩薩なれ
トト佛といふも又觀音を則佛ト云ハ無量壽佛
涅槃ノ後一劫光明功德山王佛ト名付可奉佛
ト云フをいふはつちさ也

河太唐僖宗自

河太唐僖宗皇帝馬頭夫人仙人の
教よりて長谷寺觀音を祈りて又吉備大臣
長谷寺觀音住吉明神を祈請て野馬臺と
なりて河猶委略書之

○我君とハ河徳道上人長谷寺達立時藤原房
前卿奏聞助成之間彼上人聖朝安穩藤氏襲
冒乃至法界衆生のくめは祈請の由見縁記今の
玉鬘君藤氏るれいなりと也

花ニ義唐土の人ノ祈請偈仰せられたるのまじ
とありけり然りして我君ハ我日本ニ生れてあるを
初瀬へまゐりて流ハ利生ノありけり云々云々
くひさうさしと也

○うちうちと河うちの物語あてまゝと思はそ
その祈はそせよとつづもうちうちとてそそり

[illegible]

故安知人也

のうねをよびとてまづぐせ
しそまつるうつきてハヤビの
あふはふうつくる人の心乃
らふもあたるなるまづーあり
いふやどわろこゝろにちかえ
わるむすめて日づ國のうらよれ

遠國とも我國の人と也

遠国とては我國の人と也

[illegible]

一段の悲志よりより也

○まづかといハ花 右近君う判也やといハ夕

かたれなりまづやといハはらふ

○良の乳母と云也

りうきといハはらふやうにわて

○まづ君ハ 孟 五つもの右近う返答也

といハはらふやうにわて

○わてこと細 兵ア君也

といハはらふやうにわて

○君のゆきといハ 細 夕良のうといハ不答也

といハはらふやうにわて

○んまがうまとい 細 三ふう判也

といハはらふやうにわて

○差のゆきも或按 ゆく判也

といハはらふやうにわて

○いといつゝ万水右近と年月ううん暮る
心といつゝ其故ハ夕良のいふもつ折もあせ
さういふといつゝ

といハはらふやうにわて

○いといつゝ 或按 せんちやうのいふ也

といハはらふやうにわて

○老人ハ花 老人ハ必武の後室也我君ハ夕良
上のう也

といハはらふやうにわて

○ころころせとい 或按 つくれう也

といハはらふやうにわて

○あまそなり万水 夕良のまううとを捨
といふはらふといつゝ

といハはらふやうにわて

といハはらふやうにわて

○州君と 細玉うゝ也
○ろや 弄 初夜也

此所ハ花つゝ人ハ今日初てまゝて
うれし祈の所とてあゝと志乃あきさを
ゆりゆりといふ細一儀長谷寺ハ宿老次
弟ハ局とりあて人をやとも也まゝゆりぬ
とい今のまゝつゝ此所ハ宿老るゝまゝなり也
世々可然ん

ちとてうは 或被 右近う局へうつろふと云也
弄玉うろの局は未けくるれは右近う局を
遠き心也右近う局は佛は近くとあり堂は
東面也其左右は局あり西の局は遠しと
東面は南はむろり
くわやうこ 細 右近う知也
万水 右近うものいやうこを卑下といふ也

或按乱うりこ也

よくねるまゝの或抄 生者也物は不熟心よ
うぬもの也

○とよがされて 或排 ちゐるいのちの信を
そよほさる

或歎 佛より年々祈る也
孟手あるのいふんと念ふると也

[illegible]

玉う也
 玉う也

○あとの君 万水 源氏の所也

或擬右近心中ニ佛ニ尸也

○此国のうゑ 弄 大和守也當國爲神領事
近代のり也

○大いさよハ河 大悲者觀音事也 玉うつろ
君のるより外ハトウーと也
○大気の西方 万水 篋紫の大気とせよいふ
ふるまよ三条ハつるまふし

ふるよ三条ハヤヲチルシ

○三条うちを細其器量の炊きるうものハ
ねうひるもくわり
ろろり阿賽良氏文集日本紀

阿賽 良文集 日本紀

いとく
細 右近う判

○中將とのハ花 中將殿ハ至ううの君ハ父致仕
のあゝれ也 三条のひいりよりより中
將とのハ昔ヤセー名のうを云也

將よとハ昔ヤセノ名のを云也

細今の内大臣也

○天の考いと花 四海安危照掌内、百王理乱懸心中。白文文集百練鏡

五水賞翫せしむるに於て

。ぬきこゝを 万水内大臣との西よりちわちち
おりまゝと西中より此よりぬきこゝより受領の
めは定めておりまゝとんやと也

夢よりま 花 床近しあはうまよとのきり
 夢より人の死もいととれあはうくまうや
 るの所々と云心也大臣公卿もあはうまていふハ
 一結語（Pてきくせきん）と三条右近よつて

[illegible]

三

まゝでうらうらあゝみの

このまゝいふとちひたな
しくなりおひちぎみ氣

王公大臣

[illegible]

ハフツルと云ふ

〆
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十

くしやうびもなれなげおのハ

くまのこゝろ

もくろのきりぎりす

ういづてい海に天下をゆく

サ
シ
ス
セ
ソ

こはあふちのまゝのまゝ

といふべからぬ。いふ人たは
 もつていふて。ちぢのこゝろちぢの

花紫上也

又あひ出流ひめ君 花 明石の姫君也

〇ううやつぎ 細 玉ううといふ
 孟玉ううのやつぎは下も各ううおろしちまといふ
 奇特也

〇う尺くと 細 桐 壘也
 万水 涿氏の連にうろねひりすと今尼
 公よりうろ 詞也

○當代の師母后 細薄雲女院也

○此姫君の
孟
明石姫君也

〇んむり 水 右近う手うくと此上とあり
 ううゆ也
 〇うのこさの宮へ花 藤壘の中宮と右近う
 又すゑすゑれふううとあり

もういふよりよ、万水ありあふとしてあさるゝ
し也、行末よりより、おとんと推量せらるゝ也
今年八歳なりし
う人のゆりてうハ或按、世にうゝ人とのう
と右近うゝなり也

いふは出てハ巴抄 引は出てハ紫上やとある
 なること被作なるやうあるやうと云語民よと
 なるハ紫上なるにあはるをなると云
 といふゆゑせうく則勝なるゆゑなり

[illegible][illegible]

いしてや身こそ花見は右近う初也

いふはるせ万水玉うつものゆきとほ氏へあり
あり戸出うつと也

いふはるせ巴抄ほ氏のゆき玉うつとほ
やせとのゆきと右近う云也

あとの君ハ花是ハ乳母の初也

あとのあやと万水内大臣とのうも也

ありしは細うとてありしはあま右近う
とてうとて也

うのわうりよ万水夕良のうりよまうとて
まうとてと常このゆきうとて也

そのうらふり或抄じうとて也又當時也
其時よりと云心もあり

心のかさうりもろ細そのうらハ右近と心
あまうりと云也

あつまい或抄うらうらあまうて万
けんとてとて也

まうり花 羅申也あまの仕国あま
ひんとてハ可然取(ゆき)いふもつとま
うり申とハ云也

細あまは成てうらとてほ氏いふもつと
はまのうらうしとて也とて其時
えうらうとて也

いふはるせ万水玉うつものゆきとほ氏へあり
あり戸出うつと也
いふはるせ巴抄ほ氏のゆき玉うつとほ
やせとのゆきと右近う云也
あとの君ハ花是ハ乳母の初也
あとのあやと万水内大臣とのうも也
ありしは細うとてありしはあま右近う
とてうとて也
うのわうりよ万水夕良のうりよまうとて
まうとてと常このゆきうとて也
そのうらふり或抄じうとて也又當時也
其時よりと云心もあり
心のかさうりもろ細そのうらハ右近と心
あまうりと云也
あつまい或抄うらうらあまうて万
けんとてとて也
まうり花 羅申也あまの仕国あま
ひんとてハ可然取(ゆき)いふもつとま
うり申とハ云也
細あまは成てうらとてほ氏いふもつと
はまのうらうしとて也とて其時
えうらうとて也

いふはるせ万水玉うつものゆきとほ氏へあり
あり戸出うつと也
いふはるせ巴抄ほ氏のゆき玉うつとほ
やせとのゆきと右近う云也
あとの君ハ花是ハ乳母の初也
あとのあやと万水内大臣とのうも也
ありしは細うとてありしはあま右近う
とてうとて也
うのわうりよ万水夕良のうりよまうとて
まうとてと常このゆきうとて也
そのうらふり或抄じうとて也又當時也
其時よりと云心もあり
心のかさうりもろ細そのうらハ右近と心
あまうりと云也
あつまい或抄うらうらあまうて万
けんとてとて也
まうり花 羅申也あまの仕国あま
ひんとてハ可然取(ゆき)いふもつとま
うり申とハ云也
細あまは成てうらとてほ氏いふもつと
はまのうらうしとて也とて其時
えうらうとて也

ひがきうゝのあうゝうぎの
うきうゝのあうゝうぎの

みまよさぐちねつらんごうむし
わなごうやあやうごうおつ

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or a name, written vertically.

天
 地
 人
 三才

Handwritten text in Devanagari script:

ॐ नमो भगवते वासुदेवाय
श्री कृष्णाय नमः

ろのあつちよめえちのせわ

[illegible]

Handwritten Japanese calligraphy in three vertical columns.

[illegible][illegible]

王長安

と云ふ也

水至の心也

也

右道う心也

玉子のる也

退出也

馬水

各卷年分

王國政

...

...

...

...

...

...

...

...

五

五

○うしろあは 細 源氏の詞

○うしろあは 万水よりと夕良かとよはし
まうとあひまの外の夕良よまうと
あひま也

○おろのや 細 源氏の詞世君とハ世君と
いふ花鳥世君とハ源氏自稱と云々如何

○うしろあは 細 右近詞也

○あはれは 細 うしろ親うの詞也
或抄 右近いうしろ世君とよはし
うしろの形可然と心也と云々うしろか
との詞也

○我は似てハ万水 源氏の我と云々と定て
あやのうしろと云はれしうしろ我は似てハ
初うしろと云はれし紫と云はれ源氏のうしろ
の詞也

○うしろあは 細 源氏也
あはれうしろと云はれ世君と云はれ

六条院(うしろあは)と云はれ

○まうろつ 或抄 玉うろ行るる或抄
也

○まうろつ 万水 玉うろ行るる或抄
延引も不嫌也

○父あはハ 万水 内大臣ハのあはれと云はれ
あまのあはれ中(あはれ)今うしろと云はれ
てハ中(あはれ)と云はれと云はれ

○うしろあは 万水 源氏ハあはれと云はれ
てうしろ也

○うしろあは 万水 六条院ハあはれと云はれ
人ハ心と云はれと云はれ種ハせん也

うしろあは 万水 源氏の詞

うしろあは 万水 源氏の詞

うしろあは 万水 源氏の詞

うしろあは 万水 源氏の詞

うしろあは 万水 源氏の詞

うしろあは 万水 源氏の詞

うしろあは 万水 源氏の詞

うしろあは 万水 源氏の詞

うしろあは 万水 源氏の詞

うしろあは 万水 源氏の詞

うしろあは 万水 源氏の詞

うしろあは 万水 源氏の詞

うしろあは 万水 源氏の詞

うしろあは 万水 源氏の詞

うしろあは 万水 源氏の詞

うしろと 万水 右近う初我うしろと
玉うしろと 佛の心と 人さるへ
て ちや子の心と 八施しと

○ふろふ 細 其身安穩ふふとまふ
終ふ 親子の道ハ絶ふと也 まつ 源氏
まうと 心と也

ふろふと 孟 玉うしろの心也

おのろふと 心と 八施しと
玉うしろと 佛の心と 人さるへ
て ちや子の心と 八施しと
ふろふと 細 其身安穩ふふとまふ
終ふ 親子の道ハ絶ふと也 まつ 源氏
まうと 心と也

○ねろふと 玉うしろと 細 心と 殊勝の心也
うしろと 泥也 筑紫と 塩と ありと ありと
万水 ねろふと 玉うしろと 卑下の心也
る 筋と 根と ありと ありと ありと ありと
ありと ありと

○手ハと ありと 細 手ハと 玉うしろと ありと
ありと ありと ありと ありと ありと ありと
ありと ありと ありと ありと ありと ありと
ありと ありと ありと ありと ありと ありと

○南の町 細 紫上の心方
或 紫上の心方 ありと ありと ありと ありと
ありと ありと ありと ありと ありと ありと

○もろふと 河 頭證 又 見證
巴 城の心方 ありと ありと ありと ありと
ありと ありと ありと ありと ありと ありと
○中宮乃 花六条院の手申れ町ハ中宮の里
居の時ハありと ありと ありと ありと

ねろふと 玉うしろと 細 心と 殊勝の心也
うしろと 泥也 筑紫と 塩と ありと ありと
万水 ねろふと 玉うしろと 卑下の心也
る 筋と 根と ありと ありと ありと ありと
ありと ありと ありと ありと ありと ありと

[illegible]

五水 惣ふりかへて也

萬水玉心也

○わうとて河うをいふいはるゝと表と爲る三年
よりわうとてよりて花玉うの君に
と母ととねてとるを蛭とよるより
ていふ也 并玉うの三四の年ねと
より三年よりわうとてわうとてのねり

○ひし人 或按 夕貞より、似る也

○ちりるる 細原氏の印也

○ふふふハ細岫ノを可然号也

○いさうね 万水係氏市うさる人し
○やましく押一巴振 玉うくの躰可然と心す
さゆ人芸上うさうさうねり

○ころ山ころ乃 或按 帰氏の句也
孟の中佳きころなるれはと呉ハよりてちやき
やとちやとの句也

いとあまやかしやうとあまやかし

○兵部卿官 万水源氏の所舎也 虽兵部官也
○此まゝこの内 或抄 大条院の内をいふは只
なり也

ちぢつとくもあつてうら
なふくへいふさひは
おのれもあつてうら
おのれもあつてうら
おのれもあつてうら
おのれもあつてうら
おのれもあつてうら
おのれもあつてうら
おのれもあつてうら
おのれもあつてうら

[illegible]

injunctive

۱
 ۲
 ۳
 ۴
 ۵
 ۶
 ۷
 ۸
 ۹
 ۱۰
 ۱۱
 ۱۲
 ۱۳
 ۱۴
 ۱۵
 ۱۶
 ۱۷
 ۱۸
 ۱۹
 ۲۰
 ۲۱
 ۲۲
 ۲۳
 ۲۴
 ۲۵
 ۲۶
 ۲۷
 ۲۸
 ۲۹
 ۳۰
 ۳۱
 ۳۲
 ۳۳
 ۳۴
 ۳۵
 ۳۶
 ۳۷
 ۳۸
 ۳۹
 ۴۰
 ۴۱
 ۴۲
 ۴۳
 ۴۴
 ۴۵
 ۴۶
 ۴۷
 ۴۸
 ۴۹
 ۵۰
 ۵۱
 ۵۲
 ۵۳
 ۵۴
 ۵۵
 ۵۶
 ۵۷
 ۵۸
 ۵۹
 ۶۰
 ۶۱
 ۶۲
 ۶۳
 ۶۴
 ۶۵
 ۶۶
 ۶۷
 ۶۸
 ۶۹
 ۷۰
 ۷۱
 ۷۲
 ۷۳
 ۷۴
 ۷۵
 ۷۶
 ۷۷
 ۷۸
 ۷۹
 ۸۰
 ۸۱
 ۸۲
 ۸۳
 ۸۴
 ۸۵
 ۸۶
 ۸۷
 ۸۸
 ۸۹
 ۹۰
 ۹۱
 ۹۲
 ۹۳
 ۹۴
 ۹۵
 ۹۶
 ۹۷
 ۹۸
 ۹۹
 ۱۰۰

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838. 839. 840. 84

[illegible]

う。か。う。く。し。な。ま。り。は。い。
 け。が。さ。う。ま。は。い。く。さ。
 ぬ。ご。め。さ。い。く。さ。い。く。さ。い。
 け。い。く。さ。い。く。さ。い。く。さ。い。
 け。い。く。さ。い。く。さ。い。く。さ。い。

わくごころをいふなま

侯成也此類也

よもつとていぬめさるゝもの

樂よりござぬらんぞ。

さしとふあまのぢうぢう

いそぢうになすまゝに

とあらまよとのちうまていふと

おもしろいぞうじ

のくまのわしからいふには
わし人のいふよりいふより

もろやうなやうな。

つゝさほうあつちとほ
ちどいふみちとちとほ

○ちのしらね也抄ゆをくんとていひ引ふ
かこの道なと必あり古双子をうて也

○つうハ 万水さよふめつーいさるる物
る也

ひつちの花ひつちのえハ未摘の父官也

○うやうこの 河紙屋紙草子

花北野は直に紙屋川よりとさう紙也
和哥といふ河有五家髓髓又演成式ハ
拳七病喜撰式ハ出四病殊殊髓髓有八病
是等也 弄一勘盧王石見女髓髓といハ
昔の和哥の抄也新撰髓髓ハ公任卿の撰也

○ととらととれ 或抄 源氏の卑下也

○うささくとも 花をとりじは初より病を
さへしとれはさうとされぬもの也上手のうハ
病をさへしとれはさうとされぬもの也

○うくわいさう 細末つじのきりるる習
つ入るる人

○いしあきや 或抄 末つじのうりせう
と地よりいり
いとまめやうて 細末上の實まのり也

○姫君うと 花明石姫君也

○ひるさうさうい 或抄 蠹と云虫也

○るみんて 或抄 髓髓と云はるる物
也

○姫君の 或抄 源氏の和姫君のうはハ古風ハ
うくわいさうと也

○まてまハ 細とくハ也
万水女ハ何れもこのむらとてさびと云着る

うささくとも花をとりじは初より病を
さへしとれはさうとされぬもの也上手のうハ
病をさへしとれはさうとされぬもの也
いとまめやうて 細末上の實まのり也
花明石姫君也
蠹と云虫也
と云はるる物也
源氏の和姫君のうはハ古風ハ
うくわいさうと也
細とくハ也
万水女ハ何れもこのむらとてさびと云着る

うささくとも花をとりじは初より病を
さへしとれはさうとされぬもの也上手のうハ
病をさへしとれはさうとされぬもの也
いとまめやうて 細末上の實まのり也
花明石姫君也
蠹と云虫也
と云はるる物也
源氏の和姫君のうはハ古風ハ
うくわいさうと也
細とくハ也
万水女ハ何れもこのむらとてさびと云着る

王
昌
文

王
昌
文

